# ぎかい

小国町議会だより　第170号

2026.10.16



夢はお肉屋さん

スマホからもご覧いただけます!

裏表紙に詳しくインタビュー掲載しています。御覧ください!

# 令和7年度 決算全員承認

特集　決算審査特別委員会質疑

主な内容


- 定例会・臨時会　2ページ～
- 決算審査　4ページ～
- 一般質問3名登壇　8ページ～
- 活動報告　10ページ～



小国町議会

ホームページ　http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html
e-mail　gikai@town.oguni.yamagata.jp


小国町議会　検索

## 令和8年度 9月定例会

会期：9月3日～15日

- ■令和8年度 一般会計・特別会計・企業会計補正予算 ……6件
- ■令和7年度 一般会計・特別会計 決算認定 ……12件
- ■財産取得……1件
- ■人事案件……1件
- ■諮問案件……1件
- ■報告……1件
  令和７年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- ■陳情……4件
- ■一般質問は３名が登壇し町政を質した



## 小国病院

# 現時点で繰り入れ５億円越え

小国町病院事業会計への一般会計からの繰入が現時点で総額５億円を超えた。

令和６年度、７年度決算では、それぞれ５億１４００万円、６億３７００万円となっており増加の一途をたどっている。一般会計からの繰入の限界はどこなのか、早急に中長期的な経営方針を明確にする必要がある。

# アスモ取得へ

アスモのいきいき街づくり公社が所有している土地を町が取得する。今回の予算は４６００万円となる。今後は破産管財人が管理する土地・建物を取得し、町の所有としていく方向。

今後のアスモ整備を町の活性化にいかにつなげていくか、課題は多い。



# 注目する事業

**議会中継システム更新**
- ネット中継システムの経年劣化による故障のため更新する
**3274万円**

**熊本地震被災地災害見舞金**
- 令和8年7月28日に発生した熊本地震被災地への見舞金
**100万円**

**灯油等購入費助成金**
- 対象者1万円を支給
**220万円**

**病院事業会計負担金**
- 収益の確保が困難なことから追加で負担する
**2億1806万円**
※補正後一般会計からは合計5億1800万円の負担

**施設維持管理委託料**
**観光中核組織統合支援等業務**
**914万円**
- おぐに白い森株式会社株式会社小国町地域総合商社・小国町観光協会の再編を目指すとともに、指定管理施設の再構築の方向性の取りまとめを行う

**除雪関係**
- 除排雪及び破損個所の修繕
**9029万円**
- 除雪対策基金へ積み立て
**1億円**
- 除雪堆雪箇所用地購入
**800万円**

**交付金**
- 地域おこし協力隊起業・事業承継支援事業
**100万円**

（予算書より抜粋し金額は千円未満切り捨て）

## 人事案件
- 教育委員　仁科　佳代子　氏

## 諮問案件
- 人権擁護委員　佐藤　暢芳　氏

## 7/13 第6回 臨時会
**主な補正予算**
- 飯豊温泉引湯設備長寿命化工事請負契約　▼7535万円
- 横根スキー場圧雪車更新　▼7414万円

## 8/24 第7回 臨時会
**主な補正予算**
- 7月26日の豪雨による農林業施設等の補修　▼2165万円

**条例改定**
- 小国町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
**要旨**　町長・副町長・教育長の9月分給与をそれぞれ20%減額

## 陳情

**件名**　公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情
**陳情者**　学校教育の中立性と透明性を守る山形県民の会　提出者代表　鈴木　耕一

**件名**　選挙における視覚障がい者への情報提供および当事者参画によるアクセシブル情報提供体制整備に関する陳情書
**陳情者**　特定非営利活動法人山形県視覚障がい者福祉協会　会長　鈴木　勝利

**件名**　情報公開制度における電磁的記録の写しの交付方法（電子データによる交付）の整備を求める陳情
**陳情者**　千葉県　宇井　淳

**件名**　町ホームページの意見投稿に係る個人情報の対応についての陳情書
**陳情者**　川俣　幸雄

# 令和7年度 決算審査特別委員会 全員承認





間宮尚江委員を委員長とし安部議長と石山監査委員を除く７名による決算審査特別委員会を設置し、審議にあたった。

## 総務企画課

### 地域活性化企業人制度 出向負担金

**Q** 事業の７００万円の財源と具体的な成果は。

**A** サントリーホールディングス㈱からの出向にかかる負担金であり、財源は特別交付税が措置されている。

ふるさと納税返礼品に関わる特産品の開発、売り込み、生産者と事業者等とのマッチング等、白い森ブランドの取り組みに大きな働きをいただいている。

### 駐在員設置事業

**Q** 駐在員の業務は地区の隣組制度に支えられている。その隣組長が大変な業務を請け負っているが、隣組長の仕事の軽減や報酬をどう捉えているのか。

**A** 隣組長は駐在地区の中で決定していただいている。駐在員の業務の減少が隣組長の業務を減らすことにつながると考えている。

### 自治体ＤＸの推進

**Q** 電算処理事業の費用が高額となっている。ＤＸ導入での経費の見直しや経費節減の対策は。

**A** システム標準化は国が進めるＤＸ事業であり、導入にあたり国からの交付金で対応している。

システム標準化を機に、システム開発元の事業者に変更し、中間コスト削減を図った。また、機器の再リースなどにより経費削減に努めている。

## 協力隊員の募集

**Q** 協力隊員の募集をしても申し込みが減少傾向にあるが、待遇面での問題はないのか。

**A** 小国町単体での募集イベントの開催や、活動終了後の展望を提示するなど、新たな取り組みが必要であると考えている。待遇については、今後の課題としたい。




## 病院事業会計負担金

**Q** 一般会計から病院事業や温身の郷等への負担金が年々増えている。令和7年度は6億3千万円の決算額となった。負担金の限度額に基準があるのか。

**A** 基準等はないが、一般財源で毎年この規模を負担することは難しい状況にあると認識している。医療の確保は町民生活にとって重要な施策であるため、今後は町立病院と協議を進めていく。

# 町民課

## 個別避難計画作成

**Q** 8件の実績だが対象者は何人か。また作成した計画に基づいた訓練は行ったのか。

**A** 自力での避難が困難な対象者は約170人となっている。家族・友人など誰とどのように避難するのか等の支援内容を予め定める計画である。策定後、作成者と情報伝達訓練を実施した。該当者の状況も変わっていくので都度計画の内容を見直していく。

## 災害用備蓄品整備

**Q** 避難所用簡易トイレとトイレ用ワンタッチテントは新規に整備したのか。また期限切れとなった備蓄品の処分は。

**A** 簡易トイレは追加整備で、トイレ用テントは簡易トイレの数に合



簡易トイレ整備

わせた新規整備である。
　食品は期限を迎える前に総合防災訓練や自主防災訓練に使用してもらっている。フードドライブにも寄付している。水は飲用以外の生活用水として使用できるため、スペースがある限り保管している。他にも消費できないか検討し、廃棄量減に努めたい。

**地域公共交通再編**

**Q 書面会議2回となっているが、地域の声を拾い上げる仕組みなのに役場の一方的な決定となっていないか。**

A ＪＲに合わせたダイヤ改正など、軽微なものであったため書面開催となった。今年度は地域交通のアドバイザーを加え、町の公共交通のあり方について協議を行う予定である。

## 産業振興課

**地域特産品販売強化**

**Q ふるさと納税の寄付額が前年比１６００万円減少した原因は。また、新商品の開発は。**

A 全国的に日用品等の返礼品が増加しており、当町においては日用品の需要に応えることは難しい。今後は事業者への商談や交渉を行い、返礼品数の拡充を進めたい。特にコメの需要は全国的に安定しているので、コメの取り扱い事業者の拡充に努めたい。

**地域特産品販売強化**

**Q 成果は。**

A 小国町地域総合商社には、既存商品の改良、新商品の開発、ウィスキー・山菜の販路拡大に取り組んでもらった。新商品の開発では、くろもじサイダー、とびたけパックご飯の商品化を進めている。
　また、わらびに関しては販路開拓の検討を行っている。

**花公園植栽管理業務**

**Q 除草ができていないが、管理体制は。**

A 花公園植栽管理業務委託については、花公園の植栽管理や除草、散水等をグリーンシグマ、シルバー人材センターにお願いしている。グリーンシグマによる業務の際に、職員も同行し進め方を協議している。
　管理範囲は花広場内の植栽管理に限定され、道の駅施設周辺とは区別されている。

**道の駅の桜植樹**

**Q 花広場に植樹された桜は順調に育っているか。**

A 「花回廊ようざんろーど」をつくる会から苗木の寄贈をいただいた。害虫被害により1本を残し枯死した。今年度、再度植栽できないか検討している。



記念植樹

## 健康福祉課

### 民生委員設置事業

**Q** 民生委員に寄せられた相談・支援の569件の詳細は。

**A** 大部分が、高齢者の介護・収入・生活環境に関わるものであった。障害を持った方の相談も何件かあった。

## 地域整備課

### 簡易水道事業会計

**Q** 人口減少が進む中で、大幅な増収が見込めないが、多額の維持管理費が必要だった。どのような管理運営をしてきたのか。

**A** 以前は7つの簡易水道組合の会計を各々で管理していたが、現在は一括で管理している。突発的な事象が起きても全体的な予算の中で対応できるようになった。

修繕計画の更新に併せて簡易水道の料金を値上げした。継続して安定した管理運営をしていくには、バラバラな料金を統一することも視野に入れ、簡易水道組合と協議を進めていきたい。



全議員賛成起立

# 決算審査特別委員会報告書【要旨】

町内の現状を見ると、人口減少や少子高齢化、気候変動などの課題が急速かつ複雑に変化していることに加え、長期間にわたる円安や原油価格、物価の高騰などインフレ圧力が高まっており、町民生活の疲弊は続き深刻化している。

こうした状況に鑑み、町民と行政が一体となって困難な局面に立ち向かうため、限られた予算を効果的に活用し、令和７年度に策定した第６次小国町総合計画に基づき施策を力強く展開することを期待する。

令和７年度各会計決算12件については、次の意見を付し認定すべきものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により報告する。

1　老朽化が懸念され、新たな観光ニーズへの対応が求められている飯豊山麓の観光交流施設について機能調査業務に取り組んだ。今後、同調査において整理された現状、ニーズ、課題、整備方針を踏まえ、財政負担の最小化を十分に図りつつ、本町の観光的魅力を発揮できる施設のあり方について早期に示されたい。

2　町税収入が13億円を超え過去最高額に達した一方で、病院事業に対する一般会計負担金は年々増え続け、令和７年度は約６億３千万円に上り税収のおおよそ半分を占める。町民にとって欠くことのできない事業ではあるものの、大きな負担が継続することは町の財政や他事業に深刻な影響を及ぼしかねないことから、負担金の抑制に向けた方向性を定め、効果的な対策を講じられたい。

令和８年９月14日

決算審査特別委員会　　委員長　間　宮　尚　江

# 9月定例会 一般質問　3名登壇！

動画でチェック



**間宮尚江議員**

ねらい
1　センター温浴機能の継続を要望
2　国道113号の通信不感地帯の解消を望む

**小関和好議員**

ねらい
1　官民挙げての空き家対策を

**小林　嘉議員**

ねらい
1　「六花」運用に期待されることは
2　十分な豪雪対策を望む

## 間宮尚江 議員
●まみや　ひさえ●



### 1　温浴機能の整備促進は

町長　適地選定を具体化へ

**問**　おぐに開発総合センター解体に伴い温泉が廃止され、新施設「六花」への引き継ぎも見送られた。跡地計画にも含まれず町民に落胆が広がっている。豪雪地帯で高齢者が通年集える場所や災害時の避難温浴機能は不可欠だ。代替地等を活用し、足湯など小規模な温浴機能を中長期的に整備・再開する意思はあるか。

**答**　中心部における入浴機能の必要性と重要性は十分に認識し検討を開始した。場所や施設条件、財源確保などの課題をクリアする必要があるが、既存源泉の活用や適地選定も含め、中長期的な視点から具体的な検討を早め、方向性を示していく。



### 2　不感地帯の通信整備は

町長　新技術検討と連携強化を図る

**問**　国道113号沼沢地区は豪雨被災以降、携帯電話の不感地帯が続く。厳冬期の道路麻痺時に連絡が遮断され孤立することは福祉の危機である。国の補助制度を活用し、事業者へ働きかけて早期解消を図るべきではないか。

**答**　採算面等の課題はあるが人命に関わる重要課題として認識している。国や県を通じた事業者への参入要請や補助拡充を要望するとともに、低軌道衛星通信など最新技術の活用も含め、効果的かつ現実的な改善策の検討を進める。

**問**　通信が遮断される同地区では防災行政無線が命綱となる。道路管理者や警察との単なる情報交換に留まらず、有事に迅速な情報伝達ができるよう連携協定を結ぶべきではないか。

**答**　通信環境が不十分な地域で防災無線の果たす役割は極めて重要である。現場の状況を速やかに把握・発信できるよう、関係機関との協定締結も含め連携体制の強化を協議・検討していく。



## 小関和好 議員

●こせき　かずよし●

### 空き家の安全管理と有効活用を

**町長**　一体的に進めていく

**問**　現状の人口推移を考えると空き家はまだまだ増え続ける傾向にある。

解体費用も年々高騰している中、早急に対策を行うべきと考えるが町長の考えは。

**答**　3月に「小国町空家等対策計画」を策定し定期的な調査を行うこととした。現在、位置情報等を地図上で確認できるようデータベース化を進めている。調査において空き家の数は、約300件となっている。所有者等へのアンケート調査を行うなど意向の把握につなげていく。5月には「危険空家等除却支援事業補助金」の交付要綱を制定し周知を図っている。この補助金は、除却に要する費用の1/2以内で50万円を上限に支援するものである。これまで3件の申し出があったが、いずれも国のガイドラインに該当せず補助金の対象にはならなかった。

今後も行政と民間と地域が協働し発生抑制、適正管理、除却、利活用など一体的に進めていく。

**問**　300件の空き家の数は、尋常ではない。私の想定では今後500件に迫ると考えている。除却補助が200万円の自治体も出てきている。物価高騰の中、当町の50万円の補助金は少ないのではないか。また、3件の対象外の申し出にしても基準が厳しすぎるのではないか。

**答**　金額に関しては必ずしも正しい数字であるとは考えていないが、当町の補助制度は、あくまでも国のガイドラインに添ったものである。





## 小林　嘉 議員

●こばやし　よしみ●

### 1　文化の殿堂「六花（りっか）」の活用は

**町長**　利活用検討委員会の意見を尊重していく

**問**　白い森おぐに文化センター「六花」を「まちづくり」にどう活かしていくのか。

**答**　基本理念を「白い森の国のぶな文化を継承し、人や資源をつなぎ、育て、新たな小国を紡ぐ、ふるさと創生の総合的な舞台」と整理している。具体的な施設概要は町民ホール、図書スペース、交流ラウンジなどのほか、災害時の避難所としての役割も持たせてある。子どもから高齢者まで多様な交流が生まれる「まちの居場所」に加え、住民と行政、地域外の人々をつなぐ場にしていく。具体的には「次期総合センター利活用検討会」の意見、アイディアを参考にし、開館後の運営、企画に活かしていく。

### 2　冬の豪雪対策の転換が必要

**町長**　冬も安心して住めるまちづくりを議論中

**問**　高齢化に伴い屋根の除雪が困難になり、町外に移転する家庭が多く発生しているため、新たな政策が必要ではないか。

**答**　高齢者が冬も安心して居住できる手法や空間の形成方法など議論している。これまでのように、通年で町全域の機能を保持し、町民の個々の生活スタイルを継続していく視点から「コンパクト・プラス・ネットワーク」という考え方を基に議論がなされている。これは、今後の高齢化や人口減少を見据えた生活様式として、夏は山、冬は里のような二拠点生活、冬は町中心部近隣で、建物周辺の除雪を心配することのない集合住宅などで暮らせるようにすることや、高齢者専用の集合住宅を整備するなど、様々な手法が考えられる。

今後の雪対策として具体化するために「小国町都市計画マスタープラン」の改定作業に取り組んでいる。

# 広聴広報常任委員会

## 議会広報クリニック

●とき／7月14日（火）　●場所／山形国際交流プラザ

### 議会の「見える化&住民との関係性 議会広報の基本と編集」



議会広報サポーター　芳野　政明　氏

今年度より各町村を2ヶ年に分けて「議会だより」クリニックを受けることになり、小国町は令和9年度のクリニック予定です。今後も「読まれ、伝わる、つながる」編集を心がけていきます。

# 議会運営委員会

## 置賜3市5町議会連絡協議会定例総会

●とき／7月3日（金）　●場所／米沢市役所

### 演題「クマの生態と対策について」

合同会社東北野生動物保護管理センター　技術員　佐藤　恵理子氏

クマの生態と特徴を分かり易く解説していただき、クマに遭遇した際の身の守り方や、自治体として計画的にできることなどの講義を受けました。

**関心があったのは？**

- 特集のアスモ再生に向けて（多数）
- 裏表紙の山岳会の活動は新鮮！




**表紙は？**

- 小国山岳会の頼もしい活動が伝わってきて素晴らしい！
- 和気あいあいとした雰囲気が伝わってくる写真です！

## モニターさんの声を紹介します

169号について

# 新潟山形南部連絡道路 早期実現小国町推進協力会講演会

●とき／8月6日（木）　●場所／アスモ

**演題** 山形河川国道事務所の事業概要（道路関係）

国土交通省東北地方整備局　山形河川国道事務所
事務所長　岡本　直剛氏



国の道路関係予算の紹介と、新潟山形南部連絡道路の進捗状況が報告されました。


# 有料広告募集中

**「小国町議会だより」に広告を載せてみませんか?**

地域の皆さまへ届く広告媒体としてご活用ください

気になった方はこちらをチェック!

**発行** 年4回（2月、4月、7月、10月）

**発行部数** 約2,800部

**広告掲載料** 1掲載あたり 6,000円～30,000円

**問い合わせ先** 議会事務局 ☎0238-62-2448


## 他には?

- これからも読みたくなる議会だよりをお願いします。
- 知りたいのは町を良くするために何をしているか、だと思う。

## 写真の印象は?

- 視覚的に訴える写真等はよかった。
- 印象に残る写真がない。
- イラストは柔らかいイメージで良い。

## 見やすさは?

- すっきり感がないページがあった。
- 一般質問の背景のグレーが気になる、太文字に変えては?

# がんばってます!!



プロフィール
氏名（向かって右から）
ミャワイニン 23歳
エイッムーキン 21歳
出身 ミャンマー マンタレー
勤務先 渡部肉店

**Q** 小国町には、いつ頃来たのですか。

**A** 昨年の11月に来ました。

**Q** 日本の印象は。

**A** 生活のルールがしっかりしていて、治安がいいと思いました。

**Q** 小国町の印象は。

**A** 自然と山が好きなので安心できます。

**Q** 将来の夢は何ですか。

**A** 小国町でいろいろ学び故郷で肉屋さんを開きたいし、出来ればレストランを開いたり、子供たちに日本語を教えられたらいいなと思っています。



▶機械作業もお手のもの！

**Q** 最近の楽しみは何ですか。

**A** 店のお母さんに買い物に連れて行ってもらうのが楽しみです。日本のお菓子やパスタなどおいしいので食べるのも楽しみです。

**Q** 生活してみて小国町の良いところはどこですか。

**A** 橋から見る山の風景や、お寺の雰囲気が好きです。

**Q** 行きたいところはありますか。

**A** 鎌倉のお寺やディズニーランド・富士山にも行きたいです。

**Q** 小国町に望むことがあれば教えてください。

**A** 町外へのバスの乗り方など様々なことを教えてもらいたいです。忙しい中ありがとうございました。

（文責 小関）



▲明るい職場で研修中

**次は12月定例会です**
**傍聴においでください**

## 編集後記

実りの秋、稲穂の黄色が鮮やかな季節になりました。

令和8年は昨年の渇水から一転して雨の多い年となり、各地で豪雨災害が発生しております。

当町も4年前の豪雨から米坂線が不通になっております。地方にとって公共交通の問題は、大きな課題となっています。

当議会も、町民皆様の公共交通の充実に向けてスピード感をもって活動を重ねてまいります。

小関（記）

**発行責任者**
議長 安部 春美

**広聴広報常任委員会**
委員長 伊藤 弘行
副委員長 柴田 伸也
委員 石山久美子
間宮 尚江
小関 和好
遠藤 和彦

小国町議会だより 令和8年10月16日発行 発行 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地 小国町議会 編集 広聴広報常任委員会 ☎0238-62-2448 印刷 加藤印刷 ☎0238-62-2259